

27日機輸通投第175号
平成27年10月23日

組 合 員 各 位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

中国経済セミナー
「第十三次五ヵ年計画(2016～2020年)の展望」のご案内
＜組合員限定＞

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

中国では、来年から国民経済・社会の発展に関する「第十三次五ヵ年計画」(2016～2020年)が実施されます。同計画では、「新常态」(ニューノーマル)の政策の下で、経済成長と体制改革、経済・産業調整との間で折り合いをつけながら、全面的な「小康社会」の建設に向けた政策を実施することが見込まれます。

近年、中国では経済成長が減速しており、我が国を含む世界経済の先行きに不透明感が漂っています。しかし、そのような成長減速を、経済高成長に傾斜しがちな体制や経済・産業構造を改革し、「小康社会」路線に引き戻そうとする「新常态」の現われと見るならば、現在の経済・産業政策を別の観点から評価することが可能となります。このような問題意識に基づいて、次期五ヵ年計画の展望を得ることは、たいへん有意義なことであると思われます。

そこで、今般当組合では、中国経済及び経済社会学の専門家であり、香港に拠点を置くNew Asian Invesco Ltd.の森 一道 氏を講師に迎えて、標記演題と下記内容によりセミナーを開催することとなりました。森氏は、当組合が中国経済に関する現地からの報告として組合員に情報提供を行っている「月例中国経済現地報告」の執筆者であり、毎月の分析記事は、組合員の皆様から評価を頂いております。

組合員各位におかれては、ぜひこの機会をご利用いただき、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

◆日 時 : 平成27年11月13日(金) 14:00～16:00
(開場13:30)

◆会 場 : 機械振興会館6階 会議室6-66 (定員80名)
(東京都港区芝公園3-5-8)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

◆テーマ・講演内容

「第十三次五ヵ年計画(2016～2020年)の展望」

1. 「小康社会」の提起とこれまでの進展
2. 中国にとっての「経済成長率」の意味の変化
3. 現在「リスク」とされる諸現象の分析と評価(マクロ経済指標の全体的な下ぶれ、株価下落、不良債権・負債問題、贅沢禁止令・汚職対策など)
4. 構造調整の進捗

- ◆講師：New Asian Invesco Ltd. 董事総経理 森 一道（もり かずみち）氏
（当組合HPのメンバーズメニュー「月例中国経済現地報告」執筆者）

【※補】

「月例中国経済現地報告」は、当組合ホームページの「エマージング市場関連情報」に掲載しています。（本記事をご覧いただくには、メンバーズ会員への登録が必要となります。）

<http://www.jmcti.org/trade/bull/emerging.htm>

◆講演概要

今年、第十二次五カ年計画（2011～2015年）の最終年にあたる。次の第十三次五カ年計画（2016～2020年）は、改革開放期の一貫した目標である「小康社会」（衣食が足りて、いくらかゆとりのある社会）の建設の第二段階（2020年のGDPを2000年の4倍とする）の最後の五カ年計画にもあたる。これらの意味で、今年から2020年までは、習近平政権はもちろん、中国の歴史で最も重要な時期の一つとなる。

この目標達成のためには、年率で名目7.2%の成長率で十分な計算になり、習近平氏が打ち出している「新常态」（ニューノーマル）が新奇な政策ではなく、むしろ21世紀初頭に続いた二桁成長が異常だったことが理解できる。前任の胡錦濤氏は、「経済成長は必ず社会の安定をもたらす」という鄧小平から江沢民時代まで保持された考え方はもはや通用しないとの認識に基づき、「和谐社会」の概念を打ち出し、経済成長率を引き下げようとしたが、既得権益層の抵抗にあい果たせなかった。汚職取り締まりなどで既得権益層と闘いつつ、いわば「小康社会路線」に引き戻そうとしているのが習近平氏である。このように理解すれば、現在の「成長減速」は、その路線へと改革軌道が修正されていることの現われといえる。

ただし、あらゆる統治の最終目標が、大多数の国民が幸福と感じ、安定を保つ社会の建設とすれば、「衣食が足りて、いくらかゆとりのある社会」とは、具体的にどんな社会なのかは、また別に考えるべき問題である。

本セミナーでは、①「小康社会」の提起とこれまでの進展、②中国にとっての「経済成長率」の意味の変化、③現在「リスク」とされる諸現象の分析と評価（マクロ経済指標の全体的な下ぶれ、株価下落、不良債権・負債問題、贅沢禁止令・汚職対策など）、④構造調整の進捗の4つを大きな柱として、第十三次五カ年計画の五年間の展望を試みたい。

◆参加費：無料（組合員限定）

※受講票の発行はございませんので、セミナー当日は名刺を受付にお渡しください。

※講演内容の録画、録音等は固くお断り申し上げます。

◆お申込み方法

セミナー参加ご希望の方は、11月11日（水）までに、当組合ホームページからお申込みください。定員となり次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#naigai>

◆キャンセル方法

下記事務局までメール又は電話にてご連絡ください。

◆お問合せ先

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元（くらもと）、長岡

TEL：03-3431-9348 E-mail：tohshi@jmcti.or.jp

以上